

2011年度 11月定例観察会報告 (担当6班)

第5回六甲全山分割縦走・分割観察

秋の菊水・鍋蓋を楽しむ

1. コース: 鈴蘭台駅～菊水山登山口～菊水山～天王吊り橋～鍋蓋山～
大竜寺山門～市ヶ原 解散
2. 実施日: 2011年11月13日(日)
3. 天候: 晴れ
4. 参加者: ビジター 9名 会員 15名 合計 24名
5. 配布資料: コースの地図、三角点について、神戸層群と六甲花崗岩の関係
6. 記録
 - 8:40～9:00 菊水山登山口にて、受付・諸注意、班分けなど
 - 9:20 2班に分かれて出発
 - 10:20 菊水山 山頂着 三角点の説明。
菊水山には3等三角点がある

 - 10:50 天王吊り橋を渡る。休憩。
 - 11:00 出発
 - 11:35 鍋蓋山 山頂着 鍋蓋山には4等三角点がある。
昼食
 - 12:20 鍋蓋山 出発
 - 12:45 修法が原への道 出合い
六甲層群と六甲花崗岩の関係の説明
 - 13:00 大竜寺 (ここから道幅が広いので自然観察しながら歩く)
 - 13:45 市ヶ原 解散

◆今回は六甲全山縦走コースの中でも、菊水山からの下り、鍋蓋山への登りが急な難コースで、足下に注意を要する箇所が多い。

自然観察よりも、しっかり安全に歩くことに重点をおいた。

さらに、観察会当日は六甲全山縦走大会当日でもあり、多くの参加者の通行のさまたげにならないよう、1列縦隊で歩き、追い越し可能な道では追い抜けるスペースを空けるようにつとめて歩いた。

◆観察できた植物の一部

ゴンズイ(実)、カラスザンショウ、ウラジロノキ(実)

アカガシ、スタジイ、ムクノキ、エノキ、ハリギリ、カマツカ(実)、

クサギ(実)、ハダカホオズキ、シマカンギク、ケアリタソウ、カゴノキ

(実) 等等

【三角点の解説】

- ・三角点は一等から四等までに分かれています。菊水山にあるのは三等三角点です。「三等三角点」と書かれた面が大体南向きになっています。
 - ・一等三角点は約 45Km、二等三角点は約 10Km、三等三角点は約 4Km、四等三角点は約 2Km ぐらいごとに設置されています。三角点の上の十字マーク上の緯度、経度、標高を正確に測定して地図を作る基準点にしています。
 - ・最近、三角点上に黄色の丸い IC チップが埋め込まれているものがありますが、これは、「インテリジェント基準点」です。この中にいろいろな情報が入っていて測量の作業がしやすくなるそうです。
 - ・三角点の一辺の長さは一等が 18cm、二・三等が 15cm、四等が 12cm となっています。
- 次に登る鍋蓋山の四等三角点は一辺が 12 cmなので菊水山の三角点と大きさを比べてみて下さい。

【神戸層群と六甲花こう岩の関係について】

六甲花こう岩は約 8000 万年前ぐらいにマグマが地下深くでゆっくりと冷えて固まった岩石です。ピンク色の「カリ長石」という鉱物が含まれていることが特徴です。

六甲花こう岩ができてからこのあたりに湖ができました。約 3500 万年前です。この時代に湖（湖底は六甲花こう岩）の底に川が運んできた礫や砂・泥 火山灰などが堆積しました。この堆積物が時間をかけて固まったものが

「神戸層群」です。100 万年前ぐらいからこのあたりは激しい隆起・沈降運動が起きました。隆起した部分は六甲山に、沈降した部分は大阪湾になりました。隆起した部分は雨や風で削られたので上部にあった神戸層群は鍋蓋山

周辺ではわずかにみられるのみです。隆起量が少なかった白川台付近には神戸層群は広く分布しています。



鍋蓋山・山頂